



学校だより

令和6年 2月29日

横浜市立榎が丘小学校

～豊かにかかわり合い、しっかり学ぶ、心身ともに健やかなえのきの子～

TEL 045(983)1067 FAX 045(983)5284

HPアドレス <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/enokigaoka>



「よりよく」を求めて

校長 仲川 美世子

振り返ると1年がたつのはあっという間で令和5年度も残り少なくなりました。子どもたちの学習や生活も今の学年でのまとめに入り、卒業式に向けての練習も始まっています。PTAの年度末総会、年末にいただいた保護者アンケート等を用いての今年度の振り返りも進行中です。教育活動報告として後日お届けできるように準備を進めているところです。また先日は、青葉台中学校で学校運営協議会があり今年度の教育活動についてのご意見をいただきました。概ね現状を認める評価をいただきましたが、いじめ、登校不安、一人一台端末の扱いなど、青中、青小、本校とそれぞれの様子に耳を傾けてくださり今後も地域として一緒に子どもたちを見守っていただけるようお願いをしたところです。

人はできごとに対して振り返りをし、それらが次に向けて効果的に働き、少しでもよくなるようにと考えて行動している、行動していきたいと考えるものだと思います。その考えに基づいて私たちは子どもたちにも「今日はどうだったかな」「この活動はよくできたかな」と振り返ってもらい、「次はこんなことをしたいな、できるようになりたいな」という意欲につなげているつもりです。27日の朝会でも運営委員の児童が「今までの振り返りをしっかりして今月の生活目標『めあてをもって生活しよう』につなげましょう。」と話をしてくれたところです。

ところで、「ゆとり教育」と呼ばれたものがよかったのかどうだったのかと話題になることがありますが、一方で一日5時間6時間、きっちりギチギチに詰め込んで教え込んだらそれがよいのか、という考えもあると思います。一つの学びの中で、ふと立ち止まって周りを見たり、自分を見つめたりする「ゆとり」があって、「あっちのやり方もいいな」「こうしたらどうなるかな」と多少回り道をしながら自分で学び方を見つけていくには時間がかかるものだと思うのです。

本校には550人を超える児童が集っています。その一人ひとりが自分らしく、生き生きと毎日を過ごせるようにと願って教育活動を進めていますが、全員が同じやり方ではそうはいきません。でもだからといって550通りの方法をとることもかありません。ということで、できる範囲で一人ひとりの思いに答えながら、でもある程度の方向性を持って進んでいくのが学校のできる精一杯のことです。

「這えば立て、立てば歩めの親心」という言葉がありますが、小学生にそこまでの目に見える変化は望めないかもしれません。けれども子どもたちは着実に成長しています。そしてどの子も「よりよく」なりたいと願っています。子どもたちの明日をつくっていくのは子どもたち自身ではありますが、それを「よりよい」ものにしていくためには私たち「人生の先輩たち」がほどよく手助けをすることが大切だと思います。ですから、保護者の皆様や地域の皆様のご理解とご協力は欠かせません。今年度のご協力に感謝申し上げますと同時にどうぞこれからも本校の教育活動にご支援をよろしく願いいたします。